

35社、自社商品アピール

県内信金、岐阜商議所が「商談会」

岐阜信用金庫と岐阜商工会議所は24日、取引先や会員企業の販路拡大を支援する「売り込みビジネス商談会」を岐阜市内で開いた。今回から、県内全ての信用



活発な商談が行われた売り込みビジネス商談会
＝岐阜市神田町、岐阜商工会議所

金庫、県と岐阜市の信用保証協会が共催に加わり、「オール岐阜」態勢の取り組みとなり、約100件の商談が展開された。

今回で7回目の開催。これまででは関、八幡信用金庫と県内14商工会議所による共催だったが、新たに東濃、大垣西濃、高山の3信用金庫と両信用保証協会が加わった。バイヤーは、生活協同組合コープぎふ、岐阜高島屋、ドン・キホーテ、47 CLUBなど17社・団体が参加。サプライヤーは岐阜、愛知県の食品メーカーを中心に35社が集まった。

サプライヤーは、レトルトうどん、フルーツサンド、煎餅など、売り込む商品の魅力を1社30分の限られた時間でアピール。贈答用の花やクッション類をPRする企業もあり、バイヤー側は価格や供給体制などの質問を投げかけていた。